

MailBox

メールボックス

経済同友会出向者からの近況報告 #6



From : 古澤 芽衣

外務省 在デンマーク日本国大使館
二等書記官

To : 経済同友会

Subject : 北欧デンマークに赴任して半年

2017年1月、在デンマーク日本国大使館に出向いたしました。本年は、日本・デンマーク外交関係樹立150周年の記念すべき年であり、着任半年で、皇太子殿下のデンマーク御訪問、および安倍首相のデンマーク訪問といったビッグイベントを短い期間に経験いたしました。慣れない異国での单身生活、役所の用語や習慣、外務省のルール、大使館の業務、全てが初めての世界で、まったく違う世界だと思っていた方々の訪問アレンジをすることになるとは、昨年の今ごろの私は考えてもいませんでした。

所属元のみずほ証券では、上場企業の海外IR（インベストメント・リレーション）のアレンジと、国内外の大型IRコンファレンスの運営を主に担当しており、オフィスは、株のトレーダーやセールスたちと同じフロアで、証券会社らしい職場環境でした。年に数回は企業のトップや役員の海外出張に同行し、投資家回りをしていたので、大使館業務で唯一親近感が持てたのは、政治家らの訪問アレンジ（ミーティングのアポ入れや日程表作り、送迎、同行）でしょうか。

海外で働くのは私の夢でもあったのですが、1月のデンマークは、風が肌を突き刺す寒さに加え、どんより雲の「さすが北欧」といった天候で、気分が乗ってくるまでには時間がかかりました。太陽を浴びることがまれなデンマークの冬は本当に暗く、デンマーク人は日光浴でしか吸収のできないビタミンDを子どものころからサプリメントで摂取するほどです。

デンマークに来て感じたことは、デンマーク人は自分をすごく大事にしていること。日本の社会にいと、どうしても自分や家族のことは後回しになりがちで、仕事に没頭する日々が続いてしま

います。もちろんアフター5を楽しむなんて年に何回あることか。逆にデンマーク人は、アフター5を楽しむのが当たり前で、休暇をとることに対しての抵抗もあまりありません。それは自分にだけではなく、上司、部下、同僚、取引先全ての人に対しても同じ気持ちです。自分と他人を平等に考えることができるのは、自分を大事にしているからこそなのだと思います。日本人は子どものころから、「人に迷惑をかけないように」と教わりますが、デンマーク人は「人に優しくしなさい」と教わるそうです。人は一人で生きていくことは絶対にできず、人に迷惑をかけるのは当たり前、究極的には呼吸をするのでさえも他人に迷惑をかけている、ということになります。“人に優しくする＝自分も優しくされる＝自分に優しく”だと思うのです。また、女性の就業率が70%以上と高く、企業や役所のマネジメント層の女性比率がとても高いです。女性が男性同様に平等であり、女性にとって自由な国なのだと実感します。女性も経済的に自立していることから、離婚率も高いです。もちろん離婚から生まれる問題はあると思いますが、デンマークは、自分が幸せであるための選択をしやすい環境であり、自分や他人を尊重しながら自由を得ることのできる国なのだと思います。



運河の街、コペンハーゲン



有名な人魚姫像